



当別町の人口目標について



当別町企画部企画課



(1) パターン ・パターン

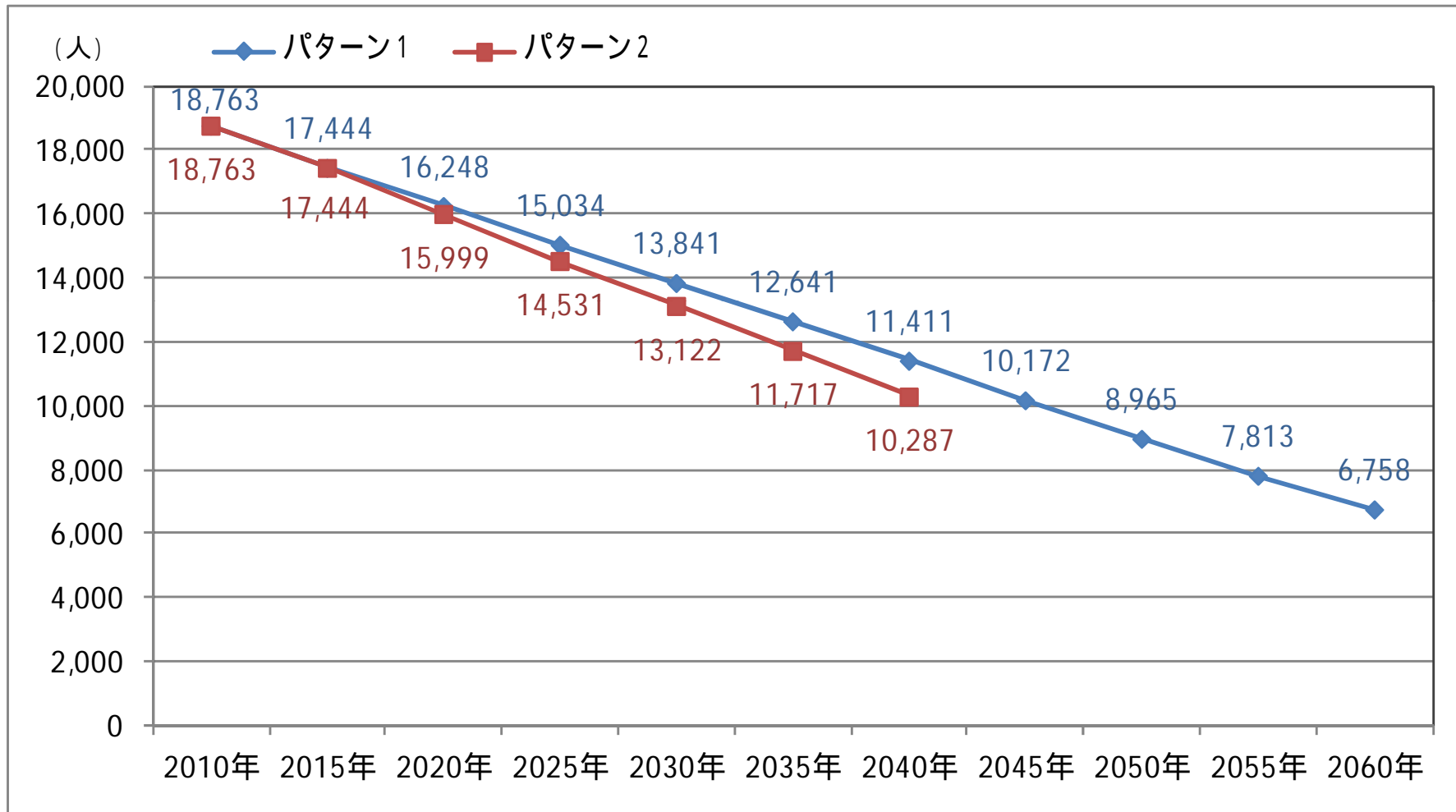
【人口推計の考え方】

	社人研推計準拠(パターン)	日本創成会議推計準拠(パターン)
移動	<ul style="list-style-type: none">直近期間の純移動率が、平成27～32年までに定率で0.5倍に縮小し、その後はその値を平成47～52年まで一定と仮定。詳細は別紙参照	<ul style="list-style-type: none">社人研の平成22～27年の推計値から縮小せずに、平成47～52年まで概ね同水準で推移すると仮定。社人研推計に比べて純移動率(の絶対値)が大きな値となる。
出生	<ul style="list-style-type: none">子ども女性比と0～4歳性比に基づき出生率を推計。(2040年に約0.87と僅かに減少)	パターン と同じ
死亡	<ul style="list-style-type: none">厚生労働省「都道府県別生命表」「市町村別生命表」を基に男女・年齢階級別に設定。	パターン と同じ



(1) パターン1 ・パターン2

【人口推計の考え方】





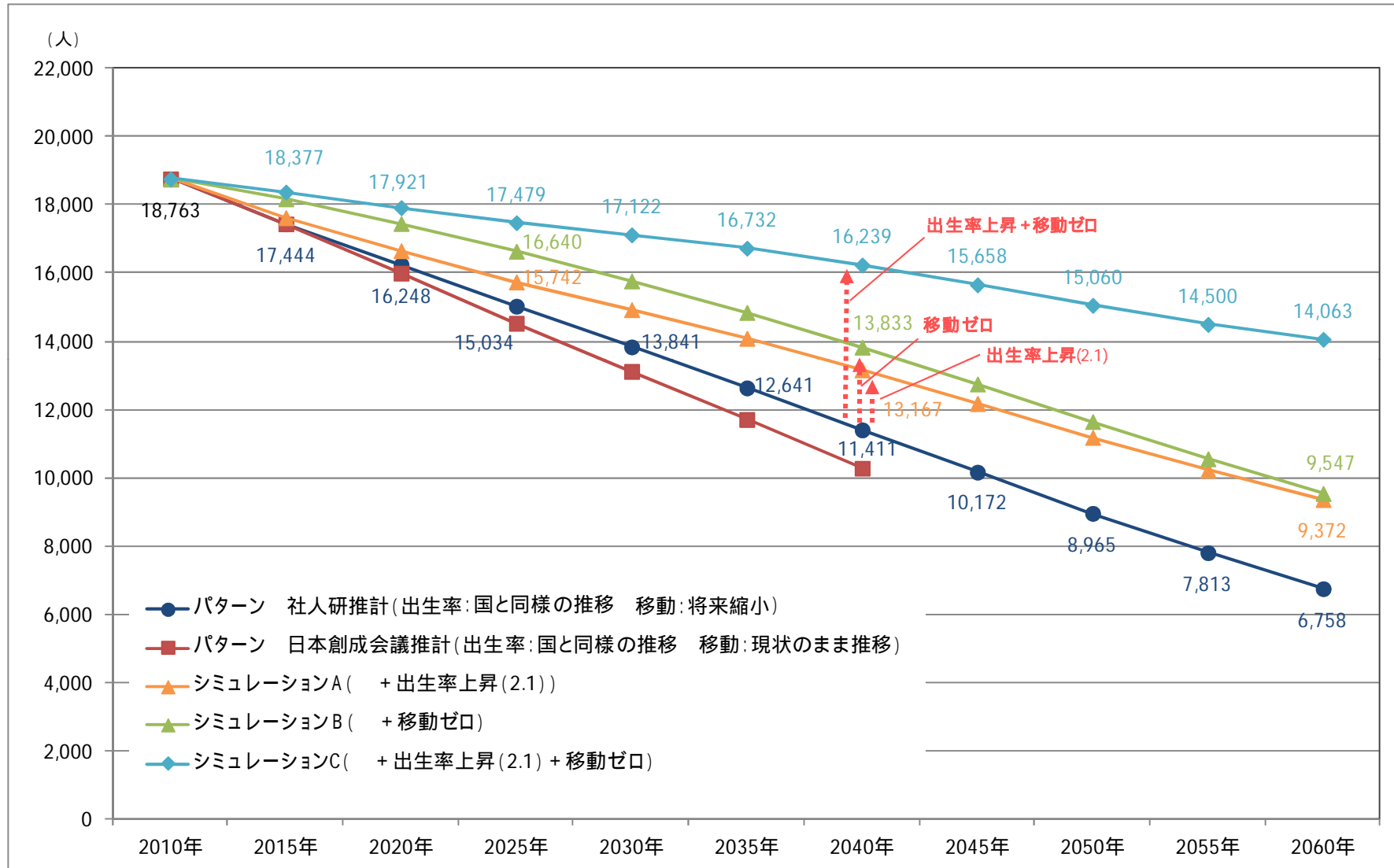
(2) シミュレーションA・B・C

【人口推計の考え方】

	シミュレーションA: + 出生率上昇	シミュレーションB: + 移動ゼロ	シミュレーションC: + 出生率上昇 + 移動ゼロ
移動	パターンと同じ	移動（純移動率）がゼロ（均衡）で推移すると仮定	移動（純移動率）がゼロ（均衡）で推移すると仮定
出生	合計特殊出生率が2030年までに人口置換水準（2.1）まで上昇すると仮定	パターンと同じ	合計特殊出生率が2030年までに人口置換水準（2.1）まで上昇すると仮定
死亡	パターンと同じ	パターンと同じ	パターンと同じ



(2) シミュレーションA . B , C





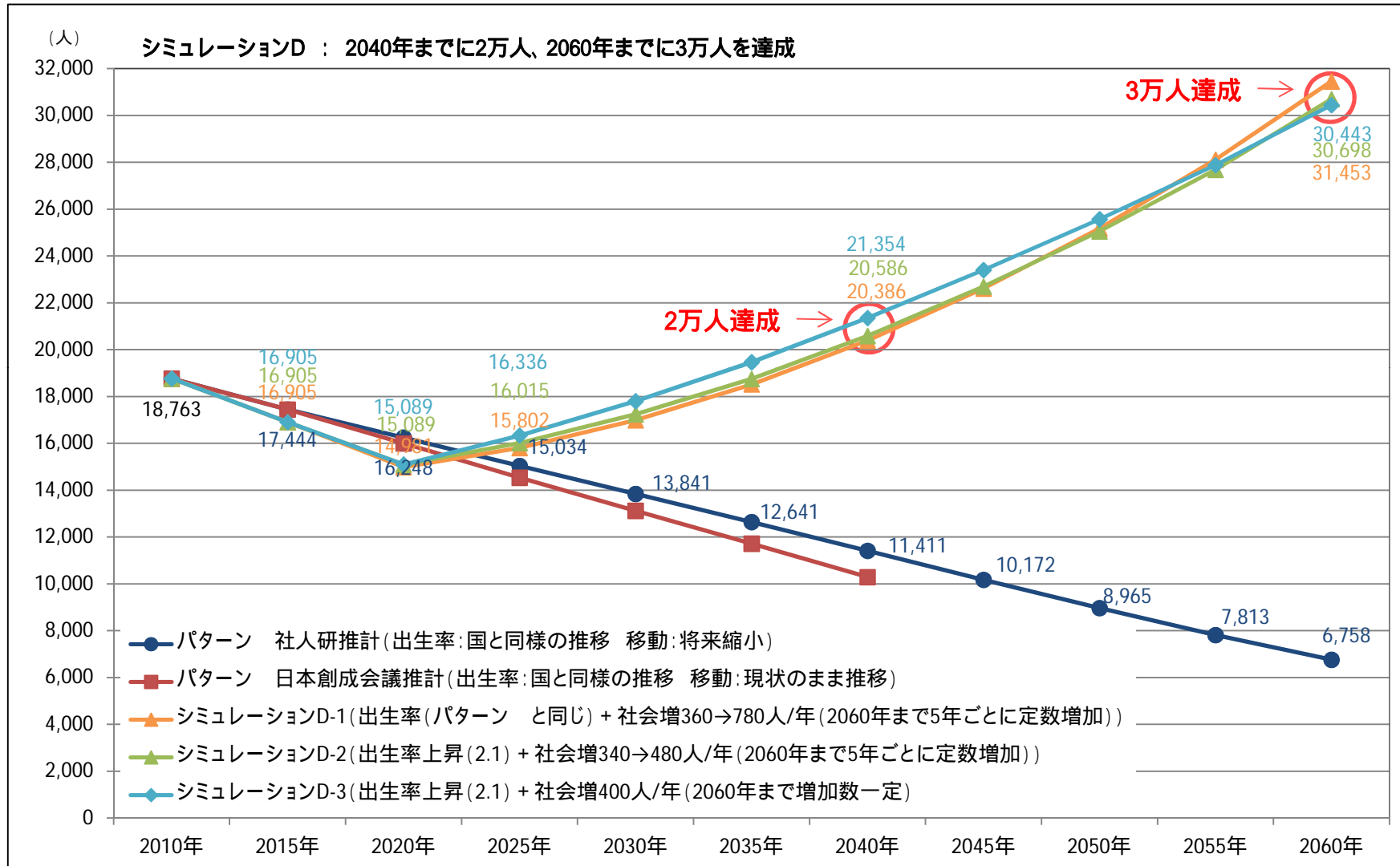
(3) シミュレーションD (目標設定)

【シミュレーションD: 2040年に2万人、2060年に3万人を達成】

	シミュレーションD - 1	シミュレーションD - 2	シミュレーションD - 3
移動	【社会増加】 5年ごと60人ずつ増加 2025年：360人/年 2040年：540人/年 2045年：600人/年 2060年：780人/年	【社会増加】 5年ごと20人ずつ増加 2025年：340人/年 2040年：400人/年 2045年：420人/年 2060年：480人/年	【社会増加】 増加数は一定 2025年：400人/年 2040年：400人/年 2045年：400人/年 2060年：400人/年
出生	パターンと同じ (僅かに減少)	合計特殊出生率が 2020年：1.30 2030年：1.80 2040年：2.10 に上昇	合計特殊出生率が 2020年：1.30 2030年：1.80 2040年：2.10 に上昇
死亡	パターンと同じ	パターンと同じ	パターンと同じ



(3) シミュレーションD (目標設定)





(3) シミュレーションE (目標設定)

